

受付番号

2024-27

許可番号

大歯医倫 第 111358 号

研究課題名

歯科衛生士研修プログラムの検討ー歯科衛生士に対する新人教育の実態調査よりー

研究責任者

大森 あかね

申請者

大森 あかね

研究終了日

2029 年 3 月 31 日

所 属

医療保健学部口腔保健学科

所 属

医療保健学部口腔保健学科

職 名

助教

職 名

助教

申請の概要

卒後 3 年未満の新人歯科衛生士が臨床実践技術に習熟する前に、基礎教育との乖離によるリアリティショックなどのために、職場環境に適応できないまま早期に離職することが報告されている。入職後の研修やフォローアップ体制により早期離職が減少した例も見られるものの、令和 2 年に実施された「歯科衛生士の勤務実態調査報告書」（日本歯科衛生士会）によると、歯科衛生士の早期離職が顕在化している。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 3 年度以降、基礎教育における臨床現場での実習経験が極めて少なくなったことが、新人歯科衛生士の早期離職や、指導する立場の歯科衛生士の負担増大等につながる可能性がある。

厚生労働省は慢性的な歯科衛生士不足に対応するため「歯科衛生士の人材確保実証事業」を行っており、本学歯科衛生士研修センターは 2018 年度から歯科衛生士復職支援・離職防止等推進事業を委託され、歯科衛生士技術修練部門を運営している。

本研究では、歯科衛生業務の現場で先輩歯科衛生士により行われる卒後 1 年未満の歯科衛生士に対する教育（OJT）の実態を明らかにするとともに、職場の業務から離れ特別に実施される教育（OFF-JT）のニーズを調査し、本学歯科衛生士研修センターで毎年開催している「歯科衛生士フォローアップ研修（新卒 1 年未満限定）」の研修内容に反映したいと考える。歯科衛生士フォローアップ研修（新卒 1 年未満限定）によって臨床実践技術の向上を新人歯科衛生士が実感すれば早期離職防止の一助となるものと期待される。